

報告書

愛知県バドミントン協会指導委員会 主催 ジェイテクトバドミントンチームによるバドミントン指導者講習会

平成30年2月24日（土）、愛知県バドミントン協会が主催する「ジェイテクトチームによる指導者講習会」が、チーム本拠地のジェイテクト体育館で開催されました。本事業は、指導委員会が年2回実施しているトップコーチを招聘する形での指導者講習会となります。

今回は、ジェイテクトチームに所属するコーチ及び、選手の方々に講習を行っていただきました。指導者を対象とした講習会として募集を行ない、2名までの選手の参加を認めて企画しました。当日は、80名（指導者33名、選手は47名）の応募があり、参加がありました。

今回の講習会では、S/Jリーグに昇格を成し遂げたジェイテクトバドミントンチーム選手11名も講習会に加わる形で講習会を盛り上げて下さいました。全体はジェイテクトコーチ兼選手の平田氏によるプログラム、同チームコーチである木村氏によるサポートにより1日の講習が展開されました。指導方法では、選手が8コートに分れて配置され、参加の指導者と選手に教える形で展開されました。詳細は、基本から応用にわたる内容でとても理解しやすい内容となりました。

午前中は、体操・ストレッチ、ランニング・簡易なステップによるウォーミングアップに始まり、1時間30分のトレーニングも兼ねたフットワークが行われました。次に、ノック形式（シャトル投げ）で基本ストローク及びフットワークを1時間かけて指導されました。指導上のキーワードが、「試合の動き、相手を想定した動き」となります。各練習において、何も考えず行えばトレーニングのみで留まってしまうこと。つまり、バドミントンの特性を踏まえた上でどのように練習に組み込めるかが、バドミントンの練習方法そして指導上で重要なファクターとなる点を強調されました。

休憩を挟み午後の講習となりましたが、11名のジェイテクトチームの選手が昼休みにも関わらず、積極的にコートに入って下さり、受講者の選手たちとコート上で打ち合ったり、ゲームをしたりと交流する機会も実現しました。

午後は、ウォーミングアップ後にジェイテクトチームのダブルスとシングルスの試合をコートの近くで観戦し、スピード、パワーそして卓越された技術に魅了されました。その後、ダブルスとシングルスコートに分かれて、1時間30分の間（5分交代）、ジェイテクト選手とのゲーム形式の練習が行われました。

受講者のアンケートには、「フットワークやパターンの練習メニューが、トップレベルの選手も同じようになっていることが知れた」「一流選手の指導の言葉に重みあり、同じノック練習でも選手の年代、レベルに応じて何を考え、行うのか。何を意識させるのかが大事であるかということを感じた」等の充実した内容であったことが伺えます。

今後、指導委員会では競技者の技術力向上、指導者のスキルアップを検討して今回の企画も継続して実施していきます。ご要望、ご意見等がありましたら指導委員会までお寄せ下さい。

（文責：指導委員会 藤巻裕昌）

